

## &lt; 記入例 &gt;

## 症例一覧記載例 (25 症例)

記載例 (その他を除き 4 項目以上 2 症例以上)

項目	内容
<b>(症例番号： 1 )</b>  1. 感染症患者への関与 2. 循環器系疾患患者への関与 3. 呼吸器系疾患患者への関与 ④. 中枢神経系疾患患者への関与 5. 消化器系疾患患者への関与 6. 腎・泌尿器系疾患患者への関与 7. 外傷患者 (熱傷含む) への関与 8. 急性中毒患者への関与 9. 災害医療への関与 10. その他	年齢：69                      性別：男
	入院時診断： 脳梗塞
	入院期間：2012年2月9日～2012年2月14日
	公衆浴場にて転倒。意識障害、右片麻痺、右バレー兆候認め、脳梗塞の疑いにて rt-PA の施行目的に救急搬送された。頭部 CT では、明らかな HDA (high density area)、early CT sign を認めなかった。
	服薬歴を確認したところ、ワルファリンカリウム服用中であったため、医師に情報提供し、アルテプラザーゼ静注療法チェックリストを医師とともに確認した。PT-INR は基準値内の 0.99 だった。全ての投与基準を満たしたため、測定した体重より投与量を算出し、調製した。制限時間内の発症後 2 時間 30 分後に rt-PA 投与となった。投与後 48 時間以内は、出血に対し、十分に観察したが認めず、状態安定後、リハビリ目的に転院となった。
<b>(症例番号： 2 )</b>  1. 感染症患者への関与 2. 循環器系疾患患者への関与 3. 呼吸器系疾患患者への関与 4. 中枢神経系疾患患者への関与 5. 消化器系疾患患者への関与 6. 腎・泌尿器系疾患患者への関与 7. 外傷患者 (熱傷含む) への関与 ⑧. 急性中毒患者への関与 9. 災害医療への関与 10. その他	年齢：30                      性別：女
	入院時診断： 急性薬物中毒
	入院期間：2011年5月20日～5月26日
	薬物大量服用による意識障害にて搬送となった。病院到着時、意識レベル JCSⅢ-100 であり、いびき様呼吸が認められたことから、気管挿管施行となった。救急隊の持参した空包より、ベグタミン B 錠 53 錠の服用が推定された。中毒症状である呼吸抑制を情報提供した。また、ベグタミン B 錠中には、抗コリン作用の強いプロメタジンが入っており、胃内排泄速度が遅くなるため、推定服用時間より 2 時間が経過していたが、胃洗浄が有効である可能性があることを情報提供した。胃管を挿入したところ、薬塊が吸引できたため、胃洗浄を行った。ICU 入室後、バルビツールの排泄促進に対し、尿アルカリ化による強制利尿を推奨し、施行された。意識レベル、全身状態改善し、一般退院となった。